



平成30年秋の叙勲

日本政府が東ジャワにおける貢献で2名に叙勲

2018年11月3日

2018年11月3日、日本政府は本年秋の叙勲受章者を発表し、この中で、30年にわたり東ジャワ州の日本人社会で中心的な役割を果たした岡野哲郎氏と、40年以上にわたりスラバヤ日本国総領事館の活動に寄与したアリ・インドラネガラ氏が叙勲されることになりました。

1. 岡野哲郎氏は、1988年にスラバヤに駐在して以来、東ジャワジャパンクラブ（EJJC）の活動に積極的に関与し、日本人社会と地元インドネシア社会との交流・融和を重視した様々な活動やスラバヤにおける邦人子女教育環境向上のために多大な貢献をされました。こうした東ジャワにおける在留邦人への福祉功労の功績が認められ、旭日双光章（The Order of the Rising Sun, Gold and Silver Ray）を受賞することとなりました。

2. アリ・インドラヌガラ氏は、東ジャワ州スラバヤ市在住で、1970年から1997年まで在スラバヤ日本国総領事館現地職員として、また、1997年から2017年まで在スラバヤ日本国総領事館顧問弁護士として、合計40年以上にわたり在スラバヤ日本国総領事館の業務を支えてきました。こうした日本国の在外公館活動に寄与した功績が認められ、瑞宝中綬賞（The Order of the Sacred Treasure, Gold Rays with Neck Ribbon）を受賞することとなりました。

（了）